

農業情報総合研究所／有機農業レポート「千葉穀物」(山武市) 「トップクラスの有機穀物農家を目指す」

千葉穀物さんは山武市を中心に、米、麦、大豆、蕎麦などの穀物を自然栽培（無農薬無肥料）されています。茨城県や埼玉県にも圃場を有していて、面積の合計は80ヘクタールです。割合としては水田よりも畑が広がっています。農作業は4人で行っています。大型のコンバインやトラクターを使用し、機械化されています。8年前に新規就農されました。神奈川県にある日本料理店のチェーンと連携し、生産物を卸されています。販路はB to B、取扱いはトン単位となっています。2023年6月10日、訪問しました。



初めに、水田にご案内をいただきました。酒造米である山田錦を生産されています。自然栽培のため、生育ムラがあります。昨年、酒造米が不足していることから生産を開始しました。福島県の酒蔵に卸されています。また、もち米も生産されており、こちらはみりん用として、静岡県の酒蔵に卸されています。

次に、小麦畑をご案内いただきました。ケーキや天ぷらに使う薄力粉になります。麦、大豆、麦、蕎麦の順で2年間の輪作を行っています。こちらも自然栽培です。散水はせず、雨水のみです。こちらの畑の面積は1ヘクタールありますが、機械を使えば1時間で刈り取りができます。現在、ロシアによるウクライナ侵略や円安の影響で、国産の麦、大豆のニーズが強くなっていて、供給が追いつかないほどです。



また、谷津田（やつだ。谷地にある田んぼのこと）もご案内をいただきました。面積は1.5ヘクタールです。形は変形していますが、段差がないので、機械を使えば田植え、稲刈りの手間はかからないとのこと。長期間、無農薬の水田であり、人が来ない場所にあります。このため、生態系が保全されています。サシバ、ホタル、トウキョウサンショウウオなど希少な生き物もたくさんいます。



千葉穀物さんは耕作放棄地を再生し、穀物の栽培を行っています。今後も、麦、大豆の生産のための畑を増やしていきたいとのこと。有機穀物農家のトップクラスは100ヘクタール規模です。トップクラスの有機穀物農家を目指すとのこと。